

## 令和6年上半期分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

令和6年上半期分について、輸出は「半導体等電子部品」、「重電機器」などが減少したもの、「原動機」、「電気回路等の機器」、「非金属鉱物製品」などが増加したことから対前年同期比6.3%の増加となった。また、輸入は「絶縁電線及び絶縁ケーブル」、「電気回路等の機器」などが減少したものの、「原動機」、「医薬品」、「半導体等電子部品」などが増加したことから、同23.9%の増加となった。

その結果、差引額は200億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	6,133億円	+6.3%	6,332億円	+23.9%	▲200億円	—
	3期ぶりの増加		6期連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1)原動機	342億円	+29.6%	輸入	増加品目	(1)原動機	1,180億円	+19.6%
		(2)電気回路等の機器	314億円	+17.6%			(2)医薬品	719億円	+33.1%
		(3)非金属鉱物製品	145億円	+36.2%			(3)半導体等電子部品	933億円	+20.9%
	減少品目	(1)半導体等電子部品	718億円	▲23.3%		減少品目	(1)絶縁電線及び絶縁ケーブル	64億円	▲19.0%
		(2)重電機器	81億円	▲51.7%			(2)電気回路等の機器	106億円	▲8.5%
		(3)半導体等製造装置	130億円	▲25.7%			(3)記録媒体〔含記録済〕	21億円	▲26.9%
主要地域 増減		EU、アメリカが増加、アジアは減少					アメリカ、アジア、EUが増加		

（参考）ドルレートは、150.89円（前年同期比12.5%、16.81円の円安）であった。

（注）令和6年上半期分のドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。